

身近な地域に対する行動

他教科との関連

課題設定

(体験・気付く)

「みんなにやさしいまち」とは何だろう。

「やさしいまち」とは何だろう。

④「やさしいまち」のイメージを描き、ワークシートにまとめる。

「みんな」とはだれのことだろう。

②「みんな」に含まれる人について考えたり、それらの生活における問題点や工夫について話し合ったりする。

学習課題・学習計画を立てよう。

③「やさしいまち」にするために、追及すべき問いを見出し、学習課題・学習計画を立てる。

多様性

国語「聞き取りメモのくふう」

必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手の伝えたいことの内容を捉える。

社会「水はどこから」

飲料水などを供給する事業が果たす役割を考え、地域の人々の健康な生活の維持と工場に役立っていることを理解する。

ステージ1

(体験・気付く)

障がいがある方や高齢者の方などの生活について調べたり、お話を聞いたりしよう。

「みんなにやさしいまち」の工夫を本で調べよう。

④工夫としてどんなものがどこにあるのか、それらのものがどんな人にどのようにやさしいのか本で調べる。

耳が不自由な方のお話を聞こう。

②聴覚障がい者との交流を通して、聴覚障がい者の生活や思いを知る。

【協力：聴覚障害者協会 猪股 恵さん】

目が不自由な方の体験をしてみよう。

③視覚障がい者体験を通して、視覚障がい者の生活について考える。

目が不自由な方のお話を聞こう。

④視覚障がい者との交流を通して、視覚障がい者の生活や思いを知る。

【協力：SDDソリューションズ

佐藤 尋宣さん】

点字について知ろう。

⑤点字の作られ方を知り、実際に点字を打つ。

理科「雨水のゆくえ」

雨水の行方と地面の様子、自然界の水の様子について理解する。

国語「あなたなら、どう言う」

お互いに納得する言い方を考える。自分とは違う立場になって考える。

社会「水害からくらしをまもる」

地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことを知る。

ステージ2

(考える・行動する)

自分たちにできることを考え、行動しよう。

荻窪のまちの工夫を見付けよう。

①荻窪駅や学区周辺には、どこに、どのような工夫があるか地図を確認する。地図に付箋を貼り、整理する。

②荻窪公園の「みんなにやさしい」工夫を見付ける。【校外学習】

③荻窪駅など他の場所での工夫も見付ける。(コロナ感染拡大防止のため校外学習はなし。学年担任が写真撮影実施)

これまでの学習を整理しよう。

④「バリアフリー・ユニバーサルデザイン」があることで、どのようにして「やさしい結果」に結びつけるのか考える。

<本時>

つくろう「やさしい西田のまち」

⑤西田のまちの課題を探し、挙げる。

⑥自分たちにできることを決め、行動の計画を立てる。

⑦グループごとに自分たちのできごとに取り組む。

情報の整理・分析

社会「とどけよう命の水」

先人の働きと現代の様子を関連付け、地域社会の発展について考える。

理科「わたしたちの体の運動」

人が体を動かすことができるのは、骨、筋肉の働きによることを理解する。

国語「世界に誇る和紙」

自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫する。

ステージ3

(まとめる)

「みんなにやさしいまち」について学習してきたことをもとに、自分たちの考えや思いを発信しよう。

発表の準備をしよう

①これまでの学習を振り返り、発表する内容をまとめ、発表の仕方を考える。

②発表したい内容・方法について不足している情報などを収集する。

③発表内容をまとめ、表現する。

発表しよう。

④ESD子供報告会で発表する。

3年生に向けて、「西田のまちがみんなにやさしいまち」であることを発表する。

1年間の取組を振り返ろう。

⑤これまでの学習の成果と課題を考え、次年度に繋げる。

批判的に考える力

国語「もしものときにそなえよう」

相手や目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にする。

社会「世界とつながる大田区」

地域の外国人と共に生活していくために自分たちができることを考えようとする態度を養う。